

| | | | | | |
|----------|----------|---------|----|-----|------|
| 授業科目名・形態 | 介護過程Ⅲ 講義 | 必修・選択の別 | 選択 | 単位数 | 2 |
| 科目担当者氏名 | 山田 克宏 | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | 2年後期 |

【授業の主題】

クライアントの望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を学ぶ。本講では、介護過程のプロセス、ケアプランと個別援助計画の関係性、チームとして介護過程を展開する意味・意義や方法を学ぶ。

【到達目標】

- 1) 介護過程とケアマネジメントの関係性を理解する。
- 2) チームアプローチにおける各職種の役割について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 介護過程の意義、目的・目標
- 第2回 チームアプローチにおける各職種の役割(講義)
- 第3回 介護過程とチームアプローチ(演習)
- 第4回 介護過程とケアマネジメントの関係性
- 第5回 介護過程のプロセス：アセスメント
- 第6回 介護過程のプロセス：計画の立案
- 第7回 介護過程のプロセス：演習①
- 第8回 介護過程のプロセス：演習②
- 第9回 ICFを取り入れた介護過程の展開方法①(自己作成)
- 第10回 ICFを取り入れた介護過程の展開方法②(グループ演習)
- 第11回 ICFを取り入れた介護過程の展開方法③(自己作成)
- 第12回 ICFを取り入れた介護過程の展開方法④(グループ演習)
- 第13回 ICFを取り入れた介護過程の展開方法⑤(自己作成)
- 第14回 ICFを取り入れた介護過程の展開方法⑥(グループ演習)
- 第15回 まとめ

【授業実施方法】

講義、適宜、演習を行う。

【授業準備】

事例等から、クライアントの望む生活の実現に必要な支援内容について考えていくこと。

【主な関連する科目】

介護総合演習、介護の基本

【教科書等】

介護過程 (新・介護福祉士養成講座9 中央法規)

【参考文献】

田中安平：プロとしての介護福祉士を目指すあなたに、ラグーナ出版、2016年。

【成績評価方法】

講義・演習態度(10%)、小テスト(10%)、レポート(20%)、定期試験(60%)

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

私は、通所介護において介護業務のなかで、クライアントに思いに基づき「その人らしい」生活支援を行ってきた。そのような臨床経験に立った講義展開を行う。

【学生へのメッセージ】

介護過程について、ケアプランとの関係、チームケア、ICFの視点から理解を深める。そして、介護実習Ⅱにおいて学んだ知識に基づき、介護実践が行えるようにして欲しい。